

事務事業名		しいたけほだ場シカ防護網設置事業		☒ 実施計画登載事業 ☐ 合併建設計画登載事業						
政策体系	政策名	05 豊かな市民生活を実現する産業の振興		事業期間		予算科目				
	施策名	20 産地化をめざした農林業の振興				会計	款	項	目	事業
	基本事業名	03 林業の振興				01	06	02	06	03
根拠法令										
所属	部課名	農林水産部農林課		☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始 平成6 年度 ~) ☐ 期間限定複数年度 【計画期間】 年度 ~ 年度 全体計画欄の総投入量を記入						
	係 名	林業係	電話		27-3111					
			内線		7127					
事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)						全体計画(期間限定複数年度のみ)				
シカ対策事業の一環として、しいたけ及びしいたけほだ木の被害を防止するため、五葉山及びその周辺地域における「被害の発生ほだ場」及び「被害の発生が予想されるほだ場」の周辺へシカ防護網を設置している。(ほだ木3,000本以上のほだ場が、補助金交付の要件である。) しいたけほだ場を囲むように網を設置し、シカの侵入を防ぎ、しいたけの食害及びほだ木を倒すなどの被害を防止し、しいたけ生産の向上を図っている。 主な業務は、 防護網設置場所の選定 県への補助申請、決定 入札、契約 防護網の設置(委託) 完了検査 県への補助金請求。 事業費は、委託料として支出される。						総投入量 (千円)	事業費内訳	国庫支出金		
								都道府県支出金		
								地方債		
								その他		
								一般財源		
								事業費計 (A)	0	
人件費	正規職員従事人数									
	延べ業務時間									
	人件費計 (B)	0								
	トータルコスト(A)+(B)	0								

1 現状把握の部(DO)

(1) 事務事業の目的と指標		活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	
手段(主な活動)	前年度実績(前年度に行った主な活動)	名称	単位
前年度実績(前年度に行った主な活動)	平成20年度から休止	ア 防護網設置延長距離	m
今年度計画(今年度に計画している主な活動)	平成21年度から県の補助制度廃止に伴い、廃止	イ	
		ウ	
対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		対象指標(対象の大きさを表す指標)	
・特にシカ被害が発生しているほだ場		名称	単位
		カ 設置対象ほだ場箇所数	箇所
		キ	
		ク	
意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		成果指標(対象における意図の達成度を表す指標)	
・特にシカ被害が発生しているほだ場がシカ被害から守られる。		名称	単位
		サ 防護網設置後の対象ほだ場のシカによるしいたけ被害額(林家申告)	千円
		シ	
		ス	
結果(基本事業の意図:上位の基本事業にどのように貢献するのか)			
・林業生産物が安定して高く売れる			

(2) 総事業費・指標等の推移			年度	17年度(実績)	18年度(実績)	19年度(実績)	20年度(目標)	21年度(目標)	22年度(目標)
			単位						
投入量	事業費	国庫支出金	千 円						
		都道府県支出金	千 円	471	540	394			
		地方債	千 円						
		その他	千 円						
		一般財源	千 円	684	647	688			
	事業費計 (A)		千 円	1,155	1,187	1,082	0	0	0
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1			
		延べ業務時間	時 間	50	50	50			
		人件費計 (B)	千 円	200	200	200	0	0	0
		トータルコスト(A) + (B)		千 円	1,355	1,387	1,282	0	0
活動指標		ア	m	888	800	538			
		イ							
		ウ							
対象指標		カ	箇所	5	5	3			
		キ							
		ク							
成果指標		サ	千円	0	0	0			
		シ							
		ス							

事務事業ID	0578	事務事業名	しいたけほだ場シカ防護網設置事業
(3) 事務事業の環境変化・住民意見等			
この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ ・五葉山及び周辺地域に生息するシカによるしいたけ被害が甚大な状況にあり、平成6年度から、「被害の発生ほだ場」及び「被害の発生が予想されるほだ場」シカ被害を防止するための防護網を設置している。			
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは後期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ ・本市においては、五葉山及び周辺地域に生息するシカのしいたけ被害が甚大な状況にあり、平成18年においては、400万円を超える被害を受けている。防護網を設置したしいたけ農家からの被害報告は減少している。(防護網の保守管理が適正に行われている農家については、被害報告なし) ただし、防護網未設置の区域においては、依然、シカ被害が後を絶たず、設置が必要な状況にある。			
この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ ・防護網未設置の区域においては、シカ被害が後を絶たず、被害該当地区の農家及び農業関係者から、強く設置を求められている。			

2 評価の部(SEE) * 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	政策体系との整合性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 結びついている [理由] ・シカによるしいたけ被害が減れば、しいたけ農家の安定したしいたけ生産及び供給につながり、所得の向上を通じ、豊かな市民生活につながる。
	公共関与の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 妥当である [理由] ・シカ防護網の設置をしなれば、しいたけほだ場へのシカの侵入を容易にし、しいたけ被害の拡大につながる。そうなれば、しいたけ生産収入の減収及びしいたけ農家の生産意欲の低下につながるため、市においては積極的に関わっていかねばならない。
	対象・意図の妥当性	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 適切である [理由] ・特にシカ被害の多いしいたけほだ場に防護網を設置することにより、シカ被害から守るために実施している事業であり、対象、意図ともに適切である。
有効性 評価	成果の向上余地	☐ 向上余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 向上余地がない [理由] ・事業を継続して行うことで、成果を維持できる。
	廃止・休止の成果への影響	☐ 影響無 [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 影響有 [その内容] ・しいたけほだ場にシカ防護網を設置をしなれば、しいたけほだ場へのシカの侵入を容易にし、しいたけ被害の拡大につながり、しいたけ販売収入の減収及びしいたけ生産農家の意欲低下に結びつく。よって、廃止・休止することはできない。
	類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある (具体的な手段, 事務事業) ☐ 統廃合・連携ができる [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☐ 統廃合・連携ができない [理由] ・しいたけほだ場をシカ被害から防護する事業は、本事業のみであり、他の事業と統廃合することは困難である。 ☒ 他に手段がない [理由]
効率性 評価	事業費の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ・防護網設置にかかる工法及び単価は適正であり、現段階で、事業費の削減はできない。
	人件費(延べ業務時間)の削減余地	☐ 削減余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 削減余地がない [理由] ・事務事業に見合った適正な人件費であり、現段階で削減できない。
公平性 評価	受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある [理由] 3 改革・改善方向の部 (3枚目シート)に反映 ☒ 公平・公正である [理由] ・これまで実施した箇所について受益者負担を求めていることから、今後の実施箇所について受益者負担を求めると不公平になる。事業区域の残分が終了するまで、現状での事業実施が好ましい。

事務事業ID	0578	事務事業名	しいたけほだ場シカ防護網設置事業
--------	------	-------	------------------

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果 (2枚目と整合を図ること)		(2) 全体総括(振り返り、反省点) ・シカ防護網を設置したいしいたけほだ場については、シカの侵入を防いでいて、防護効果ができているが、防護網未設置のほだ場については、早急な対応が求められており、計画的に、事業を継続して行うことにより、成果の維持を図りたい。																						
<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり											
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(3) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) ・シカによるしいたけ被害は、毎年変動するが、今後増加する可能性が高い。今後も事業を継続して実施することで、事業成果の維持を図る。		(4) 改革・改善による期待成果 左記(3)の改革改善案を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				
(5) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等																								

		(職 名)	原則として施策の主管課長	(氏 名)
4 事務事業の2次評価結果	2次評価者	農林課長		

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 記述水準(1次評価の記述内容を読んだ段階で選択) ☐ 記述不足でわかりにくい ☐ 一部記述不足のところがある ☒ 記述は十分なされている 評価の客観性水準(2次評価を行った後に総合的に判断して選択) ☐ 客観性を欠いており評価が偏っている(事務事業の問題点、課題が認識されてない) ☐ 一部に客観性を欠いたところがある ☒ 客観的な評価となっている(事務事業の問題点、課題が認識されている)		(2) 2次評価者としての評価結果		(3) 評価結果の根拠と理由 左記 ~ とも適切であり、見直し等の余地はない。																				
		<table border="1"> <tr> <td>目的妥当性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>有効性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>効率性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> <tr> <td>公平性</td><td>☒ 適切</td><td>☐ 見直し余地あり</td></tr> </table>		目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり	公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり									
目的妥当性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
有効性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
効率性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
公平性	☒ 適切	☐ 見直し余地あり																						
(4) 次年度の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 (ただし、廃止・休止・現状維持は重複不可) ☐ 廃止 ☐ 休止 ☐ 目的再設定 ☐ 事業統合・連携 ☒ 現状維持 事業のやり方改善 (☐ 有効性改善 ☐ 効率性改善 ☐ 公平性改善) (上記方向性に対する具体的な内容) 現状どおり、継続して事業を実施する。		(5) 改革・改善による期待成果 左記(4)により期待できる成果について該当欄に「●」を記入する。また、1次評価と内容が異なる場合には、1次評価の結果も「○」で記入する。 (廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1" style="margin-top: 10px;"> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持		●	×																				
	低下		×	×																				

5 最終評価結果

(1) 行政経営推進会議等での指摘事項